

今回は、6月に実施された活動の報告です。参加された生徒の皆さん、お疲れ様でした。

## <信州 WWL 国際会議> 報告

実施日 2022年6月11日(土)

実施会場 長野県上田高等学校

基調講演 「Z世代が考える地球の今」 露木志奈 氏

内 容 多角的視野から解決策を考える

—持続可能な生活実現に向けた私たちの誓い—

- 1 Opening Event
- 2 Keynote Speech
- 3 Discussion in breakout sessions
  - Ethical Consumption
  - Human Rights
  - Education
  - Environment
  - Poverty
  - Water and Sanitation
- 4 Closing Ceremony



本校からは12名が参加し、1グループ(4名)が発表を実施しました。発表の題目は、「Water and Sanitation 発展途上国の水質」です。内容は、塩水化した水の利用(実験)EDIで塩分濃度を低くすることができるというもので、汚染水を発電に利用する方法に関する発表でした。



各分会に分かれてのディスカッションは、テーマが壮大(海水の有効利用など)であったため、若干抽象的な議論に終始してしまい、「私たちにできること」まで議論が及ばなかったのが少し残念ではありましたが、参加生徒は海外からの参加者と意見交換ができたことで、満足感が大きかったと思います。同年代の日本語の母国語話者でない人と、英語で話す機会はとても貴重であると実感しました。

### <生徒感想>

- 即興で英語を話すことは難しかったけど、自分の意見を自由に話す機会は大切だと思った。
- 水・衛生について様々な人と意見を交換し合う貴重な機会をありがとうございました。



## 〈課題研究構想相談会〉 報告

実施日 6月16日(木) 5・6時限  
実施会場 2年7組HR、パソコン教室  
参加生徒 2年理数科  
講師 屋代高校を卒業した大学生8名  
(北海道大学総合入試理系、トロント大学コンピュータサイエンス学部、信州大学工学部、東北大学理学部、大阪大学基礎工学部、東京都立大学システムデザイン学部、早稲田大学先進理工学部、北里大学理学部)



内容 オンラインによる課題研究の構想相談

- ・課題研究各班の相談(1グループ3分以内)
- ・講師の方から(1人3分以内)
- ・zoomのブレイクアウトルームを用いて各班ごとに個別相談

2年理数科が取り組んでいる課題研究をより充実したものにするために、構想の段階で、講師にオンラインで相談してアドバイスを受ける会を、今年度初めて実施しました。講師の方々は大抵の様子や高校時代の時間の使い方、課題研究が大学受験にどのように繋がっていくか等、様々な視点から生徒にアドバイスをしてくださりました。

2年理数科の生徒たちは、屋代高校の先輩の話を熱心に聞いていました。講師は、課題研究について自らの体験を交え、どのような力が身につくのか、それが進路や大学でどのように生かせるのかなどを話してくださって、今後の課題研究へ意欲をもって取り組むモチベーションとなったと思います。生徒から先輩への質問に対しても、高校時代の体験や大学で得た知識を基に多面的な視点から答えていただきました。

機器のセッティングやZoomの取り扱いの仕方、会の次第、進め方については課題もありましたが、有意義な会となりました。

### 〈生徒感想〉

- ・何をすれば良いか全くわからない中で先輩からとても参考になりそうなヒントをいただけて大変ありがたかった。進路のことを考える機会にもなってよかった。
- ・先輩たちにアドバイスをもらって、自分達の研究の足りないところや改善しなければならないところがよく分かりました。もっと調べて改善して、自分達の独創性を持った研究ができるように頑張りたいと思います。私たちの相談に真摯に一緒に考えてくれてとても嬉しかったし参考になりました。本当にいい機会でした。ありがとうございました。
- ・理数科卒業生の先輩方のお話をお聞きして、課題研究に対しての意欲がとても深まりました。先輩方の大学での生活を聞いて私も早く大学生になりたいなと思いました。課題研究でのグループの仲間はこれから先も大切な存在になっていくと思うので思い出を作りつつ、貴重な時間を自分達で多く作っていきたいです。勉強面でのアドバイスからも、日々の授業を大切にしてください。コツコツ早いうちから積み重ねていきたいです。



## ＜オーストラリアの高校との交流 オンライン研究発表会＞ 報告

実施日 6月16日(木) 5・6時限  
実施会場 理科講義室  
参加生徒 3年理科11名  
講師(交流先) アリーシャ・トンプソン先生 Wenona 校  
(高3生10名程度、女子高)



この取り組みは、昨年に初めて実施し、今年で2回目となります。事前準備として、3年7組では5月9日(木)の昼休みから5時限を利用して、2年次の課題研究の英語での発表会をクラス全体(10グループ)で行いました。発表後に、スライドの分かりやすさ、聞き取りやすさ、熱意などを互いに評価しあい、高得点だった3グループをWenona校とのオンライン交流代表グループとしました。

代表生徒達は放課後などに英語教員(ネイティブ)と練習を重ねました。交流相手のWenona校は女子校で、STEM(科学技術や数学)に力を入れている一貫校です。

当日は4限目に接続準備をして、昼休み中の13時からオンラインによる交流がスタート。簡単な挨拶と1年7組が作成した学校紹介VTR(英語)を上映しました。Wenona校の学校紹介はライブ中継で学校中を見せてくれました。室内プール、スポーツジムがあり、高級リゾートのような学校でした。その後、屋代高校とWenona高校の順番で交互に研究発表および質疑応答を行いました。

交流できる時間を準備することはなかなか難しく、年に1回でもなんとかできた感じでした。事前交流の意味合いを込めて、互いの興味や趣味などのアンケートを事前に答えてもらい、お互いの情報を見られるようにしたり、発表内容の要旨も事前に送りあったりして、相互理解が進むように工夫しました。



### ＜生徒感想＞

- 準備した原稿を読んでも、相手のプレゼンの1割すら分からなかった。コミュニケーションができる英語力が必要だし、事前にもっと読んでおくべきだった。
- 質問や会話はできなかったけれど、もっと英語を勉強しようと言う気持ちになった。オーストラリアの高校があまりにも綺麗で驚いた。今回の経験を生かして、これからはもっと英語や科学に力を入れたいと思った。
- 本場の英語は学校で習うものと全然違って、実際に留学したり海外へ行って学びたいと思った。オーストラリアの方々はすごく積極的で、日本人と対照的だと感じた。質問はあまりできなかったが、楽しかった。1つ要望を出すとすれば、テスト前にやるのはやめてもらいたい。
- 自分たちのプレゼンは時間をかけて準備したのでうまくできたと思う。初めて英語でプレゼンをしたのでいい経験になった。しかし、相手の発表や質問についてはうまく聞き取ることができなかった。これからは会話のキャッチボールを自然にできるようになりたい。積極的に英会話の力をつけていきたいと思う。
- 英語でパワーポを作ったり発表したりしたことで英語の能力をつけられたし貴重な経験ができたと思った。しかし、質問やフリートークの時間にはなかなか喋ることができなかった。その場で英語が出てくるようにもっと勉強を頑張りたい。



## 「夏休みのSSH活動について」 今の所の情報です！

文化祭が無事に終わり、もうすぐ夏休みがやってきます。SSH では様々な企画があります。生徒募集等の詳細はHR であります。参加希望の生徒は期日までに申し込んでください。

### ・東北サイエンスツアー 8月1日～3日

東北大学工学部模擬授業、福島高校との交流、東北大学生（本校卒業生）との交流、筑波施設の見学等

（※生徒の参加申し込みはすでに終了しています）

### ・科学に親しむ教室 7月27日・7月28日・8月4日

地域の小学生を対象に、公民館で科学実験を行います。屋代高校生・附属中学生は先生役を務めます。教育学部に進学希望の方は是非参加してみてください。

### ・信州大学工学部実習 日程は未定

模擬授業の後、いくつかの研究室に分かれて、実際に実験装置などを使わせていただきながら本格的な実習を体験します。2年理数科は全員参加、2年普通科の生徒は可能であれば希望者を受け入れてもらいます。

## 「サイエンススタッフ」を募集します

募集中!

「主体性・創造性に満ちた生徒育成」のため、また理数科対象の一部のプログラムに、普通科の生徒も参加できるようにすることを目的に、「サイエンススタッフ」を組織しています。学年や学科等の制限はありません。（附属中学生もOK）

具体的には、以下のような活動ができます。（他にも要望があれば取り入れます）

・理数科対象の連携講座（アカデミックサイエンスなど）に参加することができる。  
（※ただし一部のプログラムに限ります。また人数制限があります。）

・SSH事業の運営や、サイエンスフォーラムの講師選定などに携わることができる。  
など

興味・関心のある生徒は、地学研究室のSSH担当大石まで申し出てください。  
（いつでも受け付けています）

## 「屋代高校SSHのホームページ」

SSHの20年の歩みがわかるHPです。

活動報告の中にSSH通信のページがあり、このarkheもフルカラーで掲載されています。右のQRコード、あるいは下のURLよりご覧ください。

<https://yashiro.jpn.org/SSH>

